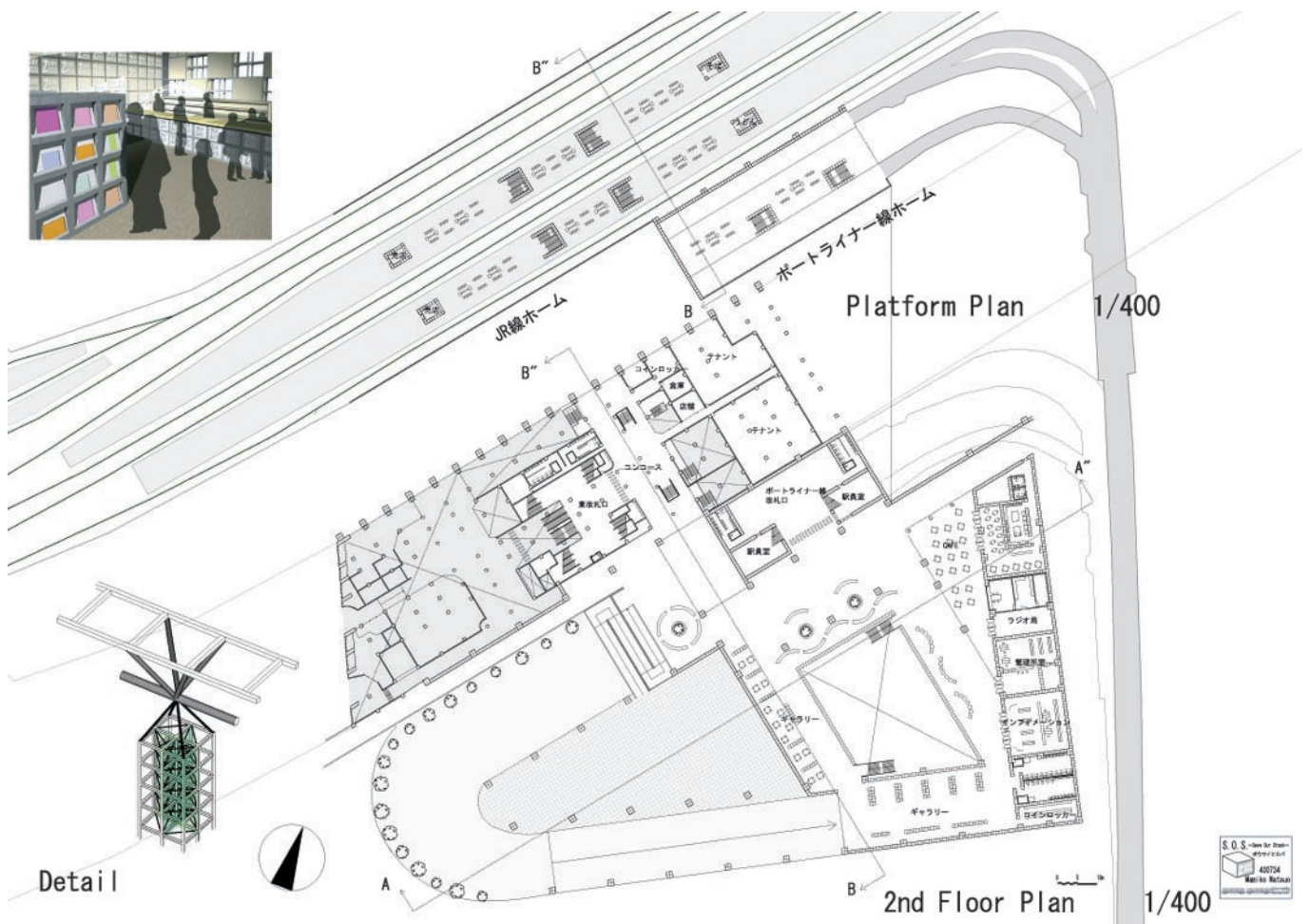
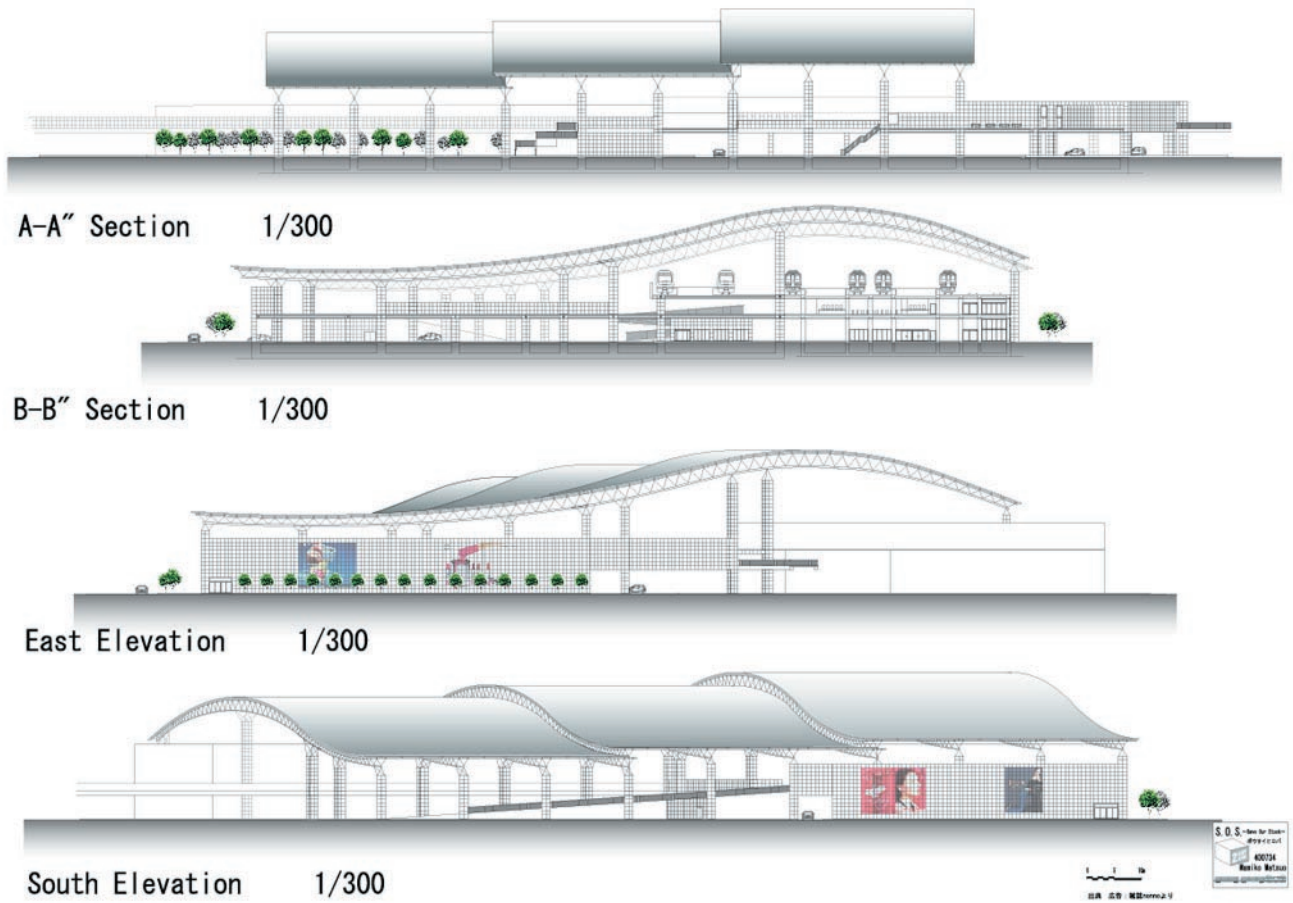


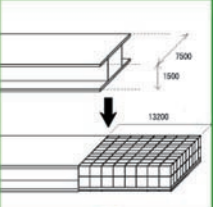
<p>いつ起こるかわからない 震災のために</p>	<p>一人一人が防災意識を持つ より多くの人に 防災意識を広める</p>	<p>日常的に防災を 感じられる場所を・・・</p>	<p>震災が起こったとき、生き延びるための援助物資が必要となる。そこで、RESCUE BOXをストックしておき、それを壁やベンチやアスレチックなど日常のなものに使うことによって、防災をPRする。</p>	
	<p>交通機関の発達に伴い、人々の行動範囲が拡大するにつれて多くの人が駅を訪れ、より広範囲に情報が伝達されていく。そこで、電車・バス・タクシーの集まる「駅前」を利用した。</p>	<p>先駆けとして、震災を身近に体験し、阪神大震災による多くの教訓の残る「神戸」の街の、なかでも全国から訪れる人の多い「三ノ宮」の駅前を敷地とした。</p>	<p>～防災を知る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ギャラリー ・見せる備蓄機能 ・防災訓練 <p>ストックの運用の仕方や震災が起こったらどう行動すればいいかを模索する。また、地震が起こるとストックの中身の入れ替えなども行う。</p>	<p>～相互援助～</p> <p>この企画を神戸だけでなく他の地域でも行い、震災が起こったときには相互に援助しあえるようにする。</p>
<p>Kobe Pier One Terminal Kobe Merikou Museum</p>	<p>KOBE</p>	<p>SITE PLAN 1/1500</p>	<p>S.O.S. ~Save Our Stock~ 400734 MAMIKO MATSUO</p>	





他地域との相互援助



ホーム長さ 約270m
駅快速12両


RESCUE BOX 6個が1ユニット

RESCUE BOXを、駅と港の避難所としても活用できるオープンスペースに配置しておく。第一陣は貨物列車を使い、第二陣として大量に運べる船を利用する。(最寄りの港まで)

この企画は先駆けとして神戸で行ったが、震災が起きて一緒に被害を受けない地域にも広め、相互援助できるように提携しておく。

ホームは電車の長さより長く、人はあまり利用しないので、ホームの両端に輸送用のRESCUE BOXをストックしておく。RESCUE BOXの上もホームとして使用できる。

ホーム片端13.2m分をRESCUE BOXで構築する。
ホーム片端
× 270個
ホーム2本分
× 1080個





After 3 DAY RESCUE

RESCUE BOXのコンテナを運ぶリフトが貨物列車とともにやってくる。

RESCUE BOXで構築された部分があらかじめ下にあるコンテナリフトによって持ち上げられる。

After 3 DAY RESCUE


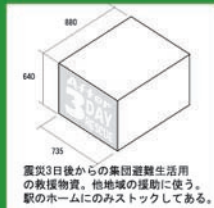
リフトで貨物列車にRESCUE BOXを組み込む。

積み終わったリフトはRESCUE BOXとともに貨物列車で被災地の最寄りの貨物駅に運ばれる。

貨物駅でRESCUE BOXをクレーン付きトラックに積み替え、被災地までトラックで輸送する。




S.O.S. - Save Our Stock
400734
真美子 松尾

震災直後2日間生き延びるための救援物資。神戸で震災震災が起こったときに使用される。

震災3日後からの集団避難生活用の救援物資。他地域の援助に使う。駅のホームにのみストックしてある。

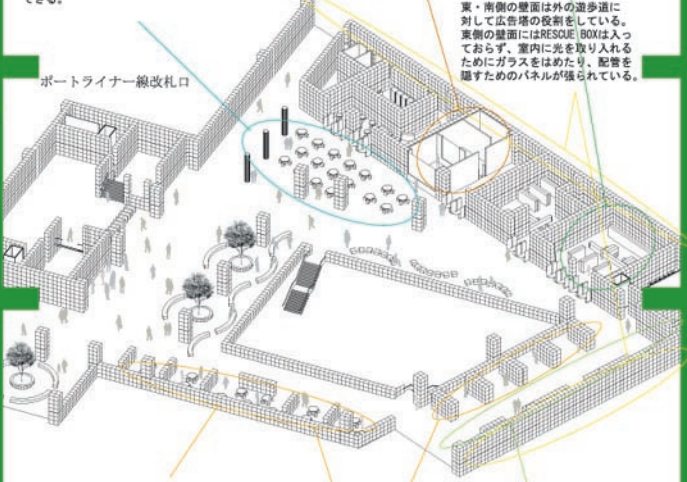
CAFE
ここは天井が低く、落ち着いた空間になっている。オープンカフェになっていて、お茶や軽食を取りながら、これからの観光スポットを回らうかとゆっくり考えることができる。

ラジオ局
震災が起こると主な情報源はラジオの衛星電波になるのでここから情報が発信される。日常はいろいろなゲストを招いて公開放送などをやる。

インフォメーション
神戸に関するいろいろな情報を得る事ができる。ここで観光スポットなどの情報や資料を手にして、ギャラリー空間でゆっくりと行き先を決める。

東・南側の壁面は外の遊歩道に対して広告塔の役割をしている。東側の壁面にはRESCUE BOXが入っており、室内に光を取り入れるためにガラスをはめたり、配管を隠すためのパネルが張られている。

ポर्टライナー縮改札口



囲まれた空間をつくることで、長時間でも滞在しやすくなった。

壁面には、RESCUE BOXはもちろん、展示空間として、防災に関するあらゆる情報が展示されている。どこかでRESCUE BOXの中身を展示し、もし震災が起こったらどのように活用されるのかを教える。

近所の幼稚園・小学校・生涯学習サークルなどでつくられた作品を展示するコーナー

2Fギャラリー空間アクソメ

S.O.S. - Save Our Stock
400734
真美子 松尾